特集

音を楽しむ・体験でつながる 八王子ユースオーケストラ

音楽を通して若者が集う オーケストラという場

「互いの存在を大切にし、仲間と共に成長しあい、喜びを分かちあえる」を理念に、地域に根差した音楽活動を行っている『八王子ユースオーケストラ』。前身である『八王子ユース弦楽アンサンブル』（2012年～）からオーケストラ（2017年～）となり、継続的に八王子エリアを中心とした若者たちによる音楽活動を行っています。

楽譜が読めて、希望楽器の経験がある25歳以下の人であれば、編曲により初級者でも参加可能で、現在は小学生から高校生や大学生、社会人など、バックグラウンドもさまざまなメンバーが26名所属。年に2回のホールでの公演を目標に、プロとして活躍する音楽監督・指揮者の井田勝大先生や、経験豊富な各パートの講師の指導の下、月に3～4回ほど南大沢文化会館で練習を重ねています。取材時は、3月の公演に向けて、ドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』等を真剣に練習中。時折笑い声が響き、そこには音楽を楽しむ仲間がいる素敵な「場」がありました。

コンサートや公演終了後の講評の様子がご覧いただけます。
八王子ユースオーケストラ紹介動画⬇

メンバー募集中 !!

小学生～25歳までの個性豊かなメンバーが、月3回程度（木・日曜）、第一線の先生方と一緒に練習しています。
見学は随時受付中!
お気軽にお問合せください。
詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページ

仲間と音を響かせ合うことで新しい世界に出会う

若いうちからオーケストラを体験して音楽に親しむ

音楽監督・指揮
井田勝大先生

――井田先生は国内を忙しく飛び回られています。多忙の中、音楽監督・指揮者を引き受けたきっかけを聞かせてください。

お話をいただいた時に、子どもたちがオーケストラを体感できる場があること、それをサポートできることは素敵だなと思いました。自分が子どものころに、もしこんな場があれば嬉しかったですね。

――指導の面で特に大切にされていることはありますか?

まずは、みんながオーケストラの一員として楽しんで参加してもらいたいと思っています。音楽を通して、人間的な成長や仲間とのつながりも感じてもらえるように、他のパートとの調和や、その曲で自分は何を表現したいのかを意識するように声をかけています。全員で曲を作り上げるからこそ自分が出した音に責任を持って周りとのつながりを感じられるのがオーケストラ。普段は違うコミュニティにいる子どもたちが音楽や演奏を通じて集まり、未知の世界に出会えます。音楽で心を開いてつながることができる場でありたいです。

――子どもたちの成長を感じるのはどんな時でしょうか?

できなかったことにチャレンジして、次の練習でできるようになっていたり、教えたことを吸収してサウンドが良くなったときには成長を感じます。練習が充実してこそ、本番にかける思いが強くなる一面も体感しています。

――ユースオーケストラで印象に残っている公演はありますか?

八王子のバレエ団である、バレエシャンブルウエストと共演した2021年3月の特別公演です。自分の出す音に合わせてバレエが動く、子どもたちにとって良い体験になったと思います。公演では音と踊りがお互いを高め合い、一体感のある演奏ができたと思います。

――これからユースオーケストラで挑戦してみたいことはありますか?

現在は、楽曲の編成に合わせOB・OGやプロの方などに公演のサポートをお願いしています。もっと入団者を増やして、子どもたちだけでの大きな編成の楽曲に取り組んでみたいですね。それから、バレエとの共演を含め、色々なコラボレーションの体験もできたら良いですね。

年齢が違うからこそ互いの成長を感じられる

自分たちも楽しみながらお客さんに良い演奏を届けたい

コンサートミストレス
（第1ヴァイオリン首席）
内田 悠さん

――現役の音楽大学3年生とのことですが、いつから参加されているのでしょうか?

中学2年生の頃、母が持ってきたメンバー募集のチラシをきっかけに、約10年間所属しています。2021年からはコンサートミストレスを担当しています。

――練習で心がけていることはありますか?

特に同じパート内では、自分の持っている音楽の知識を噛み砕いて、年下のメンバーにわかりやすく伝えるようにしています。それぞれ立場も年齢も違うので練習日に全員が揃わない時もありますが、毎回出席できるメンバーを中心に練習を進めています。

――印象に残っている公演はありますか?

2021年に行ったバレエシャンブルウエストとの特別公演です。バレエと共演するという非常に稀な公演が実現したのは、バレエ作品への造詣が深い井田先生の指揮だからこそ。難しい曲もありましたが、自分たちの演奏する曲に合わせて同じ舞台で踊るダンサーたちとの一体感に感動しました。また、2022年から年に1、2回、商業施設等でアンサンブル公演を行っているのですが、カジュアルな場所なので通行人の耳を惹きつけるために話題のポップソングやメジャーなクラシックをセレクトしています。多くの人が知っている曲は、反応が良いので嬉しくなります。

――ユースオーケストラで今後やっていきたいことはありますか?

今、練習中の『新世界より』は名曲なので、「良い表現をしたいと」メンバーのテンションが上がり、団結力も強くなっている気がします。自分たちが楽しみながら、観客に喜んでもらえるような演奏を続けていきたいですね。アンサンブルでは好きなボカロの曲をやってみたいです（笑）!

アンサンブルコンサート
会場：イーアス高尾
2022年8月11日（木・祝）